

おしえぐさ

11月22日発行

知名町立知名小学校

ラグビーワールドカップに学ぶ

校長 長野 秀樹

ラグビーワールドカップ日本大会が閉幕しました。私は、初の8強入りという目標を達成した日本チームの、タックルで倒されながらもボールをつなぐ「オフロードパス」や、低く力強いスクラムなどが象徴するチーム一丸となった献身的な戦いぶりに、大きな感動と勇気をもたらしました。

ラグビーは、ボールを奪い合う中で、激しく体をぶつけ合ったり、時には相手を投げ飛ばしたりするなど、そのプレーの激しさが競技の魅力の一つです。その一方で、選手にはルールをきちんと守ることと、誇りをもって正々堂々と対戦することが求められます。その競技精神を表す有名な二つの言葉があります。



一つ目は「One for All, All for One」～一人はみんなのために、みんなは一人のために～というチームワークを大切にする考え方です。様々な役割を受け持つ15人の選手が勝利を目指し、チームが一つになって激しく戦います。二つ目は「ノーサイド」です。試合中は全力を出して激しく戦いますが、試合が終了すると、「勝った側（サイド）も負けた側もない」とお互いの健闘を讃えあうラグビーの精神を表しています。

ところで、今回のワールドカップに選出された日本代表選手は31人。その中で、およそ半分の15人が外国出身の選手でした。日本、韓国、ニュージーランド、トンガ、南アフリカなど7カ国の多様な背景を持っています。キャプテンのリーチ・マイケル選手は、15歳でニュージーランドから来日し、日本国籍を取りました。リーチ・マイケル選手は、会見の中で「日本代表は非常に多様性のあるチーム。お互いに影響し合って、日本ラグビーは毎年よくなっている。」と話していました。

最近、「多様性」という言葉を耳にします。今回のラグビーワールドカップを通して、改めて人の多様性について考える機会だったように思います。日本チームは、人種、国籍、文化、考え方が違う多様な人々がお互いの「違い」を認め合い、尊重することで、「同じ」目的、目標を持つ強いチームとなりました。

知名小の子どもたちにも、学校や学級のために、一人一人が自分の役割をきちんと果たすとともに、自分と違う他者を認め、尊重し、互いに高め合える人になって欲しいと思っています。

ポテトスクール・フลาวースクール



J Aの青壮年部と女性部の方の協力をもらい、1・2年生がポテトスクールでジャガイモの苗芋を植え、3・4年生がフลาวースクールとして、沖永良部の花について体育館で学習後、ユリやグラジオオラス、フリージアの球根を植えました。

PTAバザー



10/26(土)にPTAバザーを行いました。益金は、子どもたちの学習活動に有効に活用したいと思えます。ありがとうございました。また、おやじの会もゲームや車両展示で参加してくださいました。

読書祭り



10月を読書月間として位置づけ、多読者の表彰や先生方のおすすめの本の紹介、職員による読み聞かせ、読書ビンゴゲームなどに取り組んでいます。読書祭りでは、「むんがたい」の皆さんによる楽しいタングラムでした。

日	曜	12月の行事予定
2	月	校内人権旬間 安全点検
3	火	人権集会
6	金	6年生学級レクリエーション(～7日)
9	月	島ムニ週間(～13日)
10	火	むんがたい
14	土	土曜授業日 ふれあい集会(3校時)
16	月	特別校時(～24日)
22	日	図書館まつり 科学の祭典
23	月	子ども読書の日
24	火	終業式 大掃除 学級活動
25	水	冬季休業(～1/7)
27	金	仕事納め
29	日	学校閉庁(～1/3)

12月2日～14日は人権旬間として、人権集会(人権に関する講話)や図書コーナーの設置、給食放送で人権作文の朗読等を行います。

12月の目標

- 生活目標** ○ 思いやりのある生活をしよう。
- 保健目標** ○ 寒さに負けない体を作ろう。

今月の島ムニ

アガリ → 東
イー → 西
ヘー → 南
ニシ → 北

※ 今月の島ムニは方角です。

学校は家からどの方向にあるかなあ。